



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション

コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー

(氏名) 徳野順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,533	△4.0	65	△67.1	69	△65.8	0	△99.1
28年3月期第3四半期	2,640	△7.8	199	△48.6	204	△47.9	105	△50.0

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 20百万円 (△82.0%) 28年3月期第3四半期 113百万円 (△50.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.22	—
28年3月期第3四半期	23.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,585	5,776	87.7
28年3月期	6,814	6,070	89.1

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 5,776百万円 28年3月期 6,070百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,571	△1.1	263	△24.2	269	△23.9	161	△18.8	37.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	4,536,000 株	28年3月期	4,536,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	250,712 株	28年3月期	150,712 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	4,305,652 株	28年3月期3Q	4,473,652 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績が好調なこと等から、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。しかし、個人消費の低迷、英国のEU離脱問題、米国の大統領選挙の影響等により為替相場の急激な変動等が発生しており、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

学習塾業界におきましては、少子化、大学入試制度改革、教材のデジタル化など環境が変化しており、資本・業務提携など再編の動きが活発化しております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、「体験と学習」の実践の場として理科実験授業や農業体験等を積極的に進めることと並行して既存教室の生産効率の見直しを徹底してまいりました。また、インターネットを活用した会員数増加のための仕組みづくりに取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高25億33百万円(前年同期比1億6百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益65百万円(前年同期比1億33百万円減)、経常利益69百万円(前年同期比1億34百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益0.9百万円(前年同期比1億4百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は6,150名(前年同期比0.7%減)となりました。この結果、売上高は16億57百万円(前年同期比15百万円減)となり、セグメント利益は1億8百万円(前年同期比14百万円減)となりました。

#### (スポーツ事業)

スポーツ事業につきましては、子会社である株式会社日本体験センターを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は9,811名(前年同期比23.7%減)となり、売上高は5億52百万円(前年同期比1億72百万円減)、セグメント利益は78百万円(前年同期比76百万円減)となりました。

#### (飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億84百万円(前年同期比5百万円増)、セグメント損失は31百万円(前年同期はセグメント損失31百万円)となりました。

#### (その他)

バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億42百万円(前年同期比74百万円増)、セグメント損失は90百万円(前年同期はセグメント損失47百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は53億84百万円(前連結会計年度末比3億26百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が2億92百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は12億1百万円(前連結会計年度末比97百万円増)となりました。

これは主に、有形固定資産が55百万円減少し、投資その他の資産が1億60百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は6億87百万円(前連結会計年度末比53百万円増)となりました。

これは主に、短期借入金が増加したこととその他(前受金)が増加したこと、未払法人税等が減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億21百万円(前連結会計年度末比10百万円増)となりました。

これは主に、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は57億76百万円(前連結会計年度末比2億93百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が2億18百万円減少したことと、自己株式の取得により純資産合計が94百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月28日付で公表いたしました通期の連結業績予想を変更していません。

「参考」個別業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月28日付で公表いたしました通期の個別業績予想を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ20千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,420,607	5,128,260
受取手形及び売掛金	19,304	12,930
商品及び製品	100,555	108,681
原材料及び貯蔵品	20,106	15,718
その他	149,846	118,558
流動資産合計	5,710,419	5,384,148
固定資産		
有形固定資産	385,348	330,165
無形固定資産	47,136	39,287
投資その他の資産	671,666	831,899
固定資産合計	1,104,150	1,201,351
資産合計	6,814,569	6,585,500
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,309	26,945
短期借入金	250,000	310,000
未払法人税等	43,478	1,723
賞与引当金	56,822	56,025
店舗閉鎖損失引当金	3,250	—
その他	239,773	292,698
流動負債合計	633,633	687,392
固定負債		
退職給付に係る負債	67,167	73,090
資産除去債務	22,793	16,038
繰延税金負債	7,191	18,767
その他	13,094	13,244
固定負債合計	110,246	121,140
負債合計	743,880	808,533
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,915,100	5,696,779
自己株式	△143,953	△238,853
株主資本合計	6,013,546	5,700,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,260	60,627
為替換算調整勘定	22,881	16,013
その他の包括利益累計額合計	57,142	76,641
純資産合計	6,070,689	5,776,967
負債純資産合計	6,814,569	6,585,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,640,759	2,533,967
売上原価	1,713,249	1,751,663
売上総利益	927,509	782,303
販売費及び一般管理費	728,042	716,623
営業利益	199,467	65,680
営業外収益		
受取利息	1,425	710
受取配当金	3,053	3,264
受取賃貸料	1,399	1,407
その他	2,646	1,617
営業外収益合計	8,524	7,000
営業外費用		
支払利息	2,710	2,636
その他	672	167
営業外費用合計	3,382	2,804
経常利益	204,608	69,876
特別利益		
固定資産売却益	111	2,549
特別利益合計	111	2,549
特別損失		
固定資産売却損	2,170	—
固定資産除却損	2,221	1,543
減損損失	3,460	31,545
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,250	—
特別損失合計	11,101	33,089
税金等調整前四半期純利益	193,619	39,336
法人税等	88,449	38,393
四半期純利益	105,169	943
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,169	943



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	105,169	943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,440	26,366
為替換算調整勘定	△946	△6,867
その他の包括利益合計	8,494	19,498
四半期包括利益	113,663	20,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,663	20,442
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,673,757	724,907	178,410	2,577,074	63,684	2,640,759	—	2,640,759
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	4,175	4,175	△4,175	—
計	1,673,757	724,907	178,410	2,577,074	67,860	2,644,935	△4,175	2,640,759
セグメント利益 又は損失(△)	123,137	155,164	△31,443	246,858	△47,391	199,467	—	199,467

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,657,889	552,842	184,057	2,394,788	139,178	2,533,967	—	2,533,967
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	3,255	3,255	△3,255	—
計	1,657,889	552,842	184,057	2,394,788	142,434	2,537,222	△3,255	2,533,967
セグメント利益 又は損失(△)	108,478	78,692	△31,260	155,910	△90,229	65,680	—	65,680

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントの焼肉店事業において、当初想定していた収益が見込めなくなったことにより、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては31,545千円であります。